

内耳窓破裂症による外リンパ瘻

めまいと急性の難聴の中に、手術でよくなる疾患があります。

外リンパ瘻とは

内耳は、聴こえと体のバランスを保つために重要な器官です。内耳窓破裂症とは、内耳と中耳の間にある卵円窓あるいは正円窓が破れ、外リンパ液が中耳に漏れる病気です。外リンパが漏出すると、下記の症状が起こります。

外リンパ瘻の症状

外リンパ瘻の症状には、3つのタイプがあります。

1. 急に難聴が発症するタイプです。**突発性難聴**に似ています。めまいを自覚する場合と、めまいがない場合があります。以前に突発性難聴の治療をしたことがあり、その後にめまいを自覚する場合や、難聴が進行する場合は、外リンパ瘻の可能性ががあります。
2. 急に起こった激しいめまいが続き、聴力は正常のタイプです。**前庭神経炎**に似ています。
3. めまいを反復して、聴力が変動するタイプです。**メニエール病**に似ています。2日以上めまいが続いたり、難聴が進行したりする場合は、外リンパ瘻の可能性ががあります。

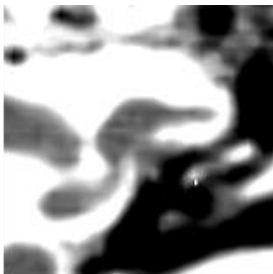
次の出来事は、外リンパ瘻の原因となります

1. 脳髄液圧あるいは中耳圧の急激な変動を起こす行為(重量物の運搬、介護、筋トレ、鼻かみ、飛行機、潜水など)
2. 発症の直前～数十年前に、頭部打撲
3. 耳外傷(耳搔き、綿棒、山登りで木の枝、耳を殴打)
4. 発症の数日前～直前に、強大音に暴露
5. 習慣性に入り口から2cmより奥の耳掃除

外リンパ瘻の発症がわかる人もいます

1. ポンと音がして発症
2. 水の流れるような耳鳴、水の流れる感じ、ぷつぷつという耳鳴
3. 耳の痛みを伴う場合があります。

内耳窓破裂症のCT所見



手術の目的は、外リンパの漏出を止めることです。外リンパの漏出が多量の症例は、CTの内耳窓周囲に軟部組織陰影を認めます。手術した症例の約2割に、このように明らかな所見がありました。

外リンパ瘻の治療方法

外リンパ瘻の治療は安静か手術です。安静で3～4割の人は治ります。

下記の症状の外リンパ瘻は、自然に治癒する可能性が低いので、手術をお勧めしています。

1. めまいが激しい。
2. ふらつきが続いている。
3. 急に難聴になり、眼振がある。
4. 難聴が日に日に悪化している。

5. 変動する難聴があり、眼振がある。

外リンパ瘻の手術方法

局所麻酔下に耳後切開で手術を行います。前庭窓と蝸牛窓を確認して、筋膜とスポンゼルで内耳窓閉鎖術を行っています。手術時間は1時間半くらいです。入院期間は最短で1泊2日です。

手術の欠点は、耳後部の切開のために耳介の感覚が数ヶ月鈍くなることです。また手術側の舌の前半分で、味覚が低下する事があります。前庭窓と蝸牛窓の間に舌の前半分の味覚神経があり、手術中にこの神経を触らざるを得ないためです。多くの方は数ヶ月で回復しますが、残念ながら手術した側で舌の前半分の味覚が戻らない人もいます。

外リンパ瘻の手術成績

長く続いためまいあるいは激しいめまいの症例では、若干のふらつきが残る傾向があります。難聴は発症から早期に手術をすると、回復する可能性があります。長期間の漏出、高度難聴、眩暈を伴う症例は、術後の聴力が良くありません。

下の表は、ステロイドを使用していない60dB以上の急性感音性難聴の38例に対する手術成績です。

発症から手術	平均聴力改善 dB		
	60-89dB	90-110dB	111dB (全聾)
1~3日	60.5	65.1	15.8
4~7日	38.2	38.2	0
8~14日	24.6	18	26
15日~	26	30	

発症から手術	初診時聴力 (60-89dB)				
	治癒	著明回復 ≥ 30dB	回復 10~29dB	不変	悪化 ≥ 10dB
1~3日	2				
4~7日	2	2			
8~14日	2		2	1	
15日~			1		

発症から手術	初診時聴力 (≥ 90dB)				
	治癒	著明回復 ≥ 30dB	回復 10~29dB	不変	悪化 ≥ 10dB
1~3日	2	6	3	1	
4~7日	1	6	2	1	1
8~14日			2		
15日~		1			

論文

1. Nagai T, Nagai M (2012) Labyrinthine window rupture as a cause of acute sensorineural hearing loss. Eur Arch Otorhinolaryngol. 269: 67-71.
2. 永井知幸 (2012) 内耳窓破裂症による眩暈と難聴. 医療 66 : 99-102

学会発表

日本耳鼻咽喉科学会

2014年 外リンパ瘻診断基準(案平成25年1月)の問題点

2015年 急性感音性難聴の治療成績: 内耳窓閉鎖術と保存的治療の比較

日本耳科学会

2011年 内耳窓閉鎖術を行った小児の10例

2012年 内耳窓閉鎖術を行った10例のCTPの検査結果

2013年 急性感音性難聴に対する内耳窓閉鎖術の現状

2015年 習慣性耳掃除が原因と思われる外リンパ瘻